

17地区での自由枠交付金の使い方などを紹介！！



# 地域で生きる自由枠交付金

## Part 10

### 総社中央小学校区地域づくり協議会

#### ●自由枠交付金制度の活用について

平成27年度の制度開始時は、各町内会ごとの小さな単位で課題解決を行い、平成28年度からは、防犯・防災部会、こども部会を立ち上げ、小学校区全体を見渡した活動に取り組んでいます。具体的には防犯灯の設置や子どもの安全安心に関することに重点を置いています。

#### ●今後の課題

今まで全く交流がなかった他地区の人との交流が増え、それぞれの課題を理解し合いましたが、自治会の会長を務めている人が主に運営を行っているため、女性や若者の提案や参画を促していくことが課題となっています。

総社中央小学校区地域づくり協議会会長

#### 白神 増己さん

安全で安心して暮らしていくことができ、地域の宝である子どものため、自由枠交付金をうまく活用できるようにと考えています。



7月17日に開催された粟嶋神社夏祭り。備中温羅太鼓や花火で盛り上がりを見せた

## 主な活動内容

支会・部会名	活動内容
西総社支会	防犯灯維持管理など
門田支会	祭り用備品購入、集会所修繕など
井尻野支会	防犯灯設置や維持管理、ごみステーション維持管理など
溝口支会	ごみステーション用品購入、交通安全看板設置など
福祉部会	敬老会
環境部会	市道、農道の環境浄化活動



利用者を守るため真剣に話を聞く関係者ら



市地域自立支援協議会 延原 良純 会長

防犯体制を施設で確認しつつ、行政・警察・地域が顔の見える関係を築いていくことが大切。

障がい者への偏見意識をもつ人もいます。このような事件が二度と起こらないようにするためにも、地域の人に対して正しい認識を深めてもらえるよう啓発活動に取り組んでいきたい。

神奈川県の障がい者支援施設で、入所者19人が殺害された事件を受け、市内の関係法人や事業所、当事者団体などを対象とした緊急会議を8月1日に消防署で開催。8月1日から31日までの1か月間を「社会福祉施設等安全確保強化月間」と定め、行政や警察への迅速な通報、警察の事業所巡

回、行政の事業所訪問、地域の見守りといった、連携支援体制の強化に取り組むことを確認しました。会議には関係者約110人が出席。関係機関からの報告のなかでは、市や県警察、福祉施設などが密に情報共有を図り、連携していくことが話し合われました。

## 利用者の安全を守る

障がい者支援施設襲撃事件を受け緊急会議  
問い合わせ 福祉課障がい福祉係 (☎8269)

# 広聴 そうじゃモニター募集 アンケートにご協力を！



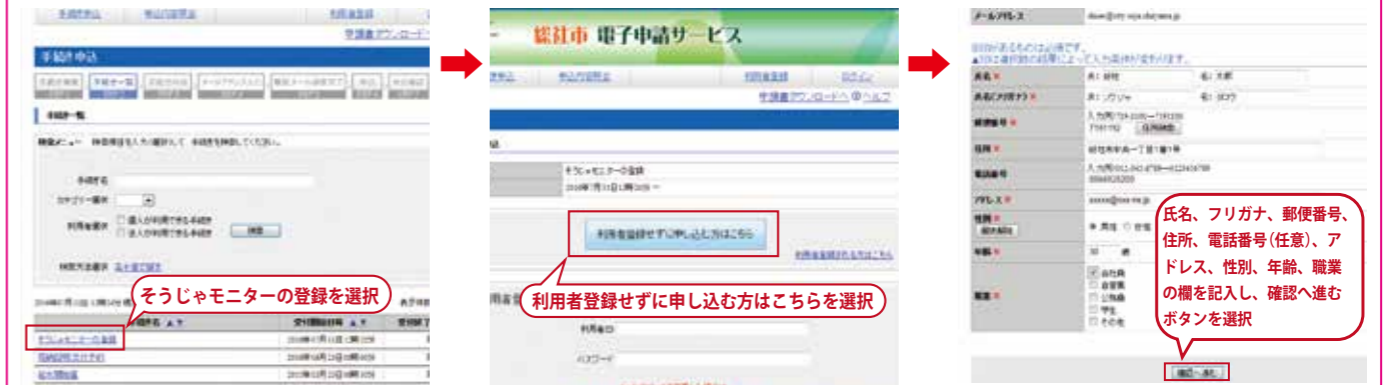
インターネットを活用して、市政の課題などについてアンケートを実施することにより、市民の意見などを迅速かつ効率的に把握し、市政に反映させることを目的として、そうじゃモニターを募集します。

そうじゃモニターは、16歳以上の人で、総社市に住所があるか市内に通勤・通学する人ならどなたでも登録が可能です。

岡山県総社市電子申請のページで住所や氏名などの情報を登録していただいた人に、年に数回メールでアンケートを依頼しますので、電子申請で回答してください。

## 登録方法

- 1 市ホームページのお役立ち情報欄にある「電子申請」のバナーをクリックして、電子申請のページにアクセスし、「そうじゃモニターの登録」を選択
- 2 「利用者登録せずに申し込む方はこちら」のバナーを選択し、次ページで、利用規約を読んだ後に、「同意する」のボタンを選択
- 3 登録画面に移るので、氏名や住所、メールアドレスなどの情報を入力し「確認へ進む」を選択。次ページで「申し込む」のボタンをクリック



- 4 登録したアドレスに、電子メールが送信されます。書かれているURLにアクセスすると、正式に登録が完了し、申込完了通知メールが送られてきます。整理番号とパスワードは大切に保管してください。

### ■注意事項

- ・1年以上継続してアンケートに回答がないか、電子メールが到達しなくなった場合は、そうじゃモニターから除外されます
- ・送受信に係る通信費は、各そうじゃモニターの負担です
- ・その他のご意見ご提言は、従来どおり市ホームページや市役所玄関にある意見提案箱で受け付けています

1回目のアンケートは市の広報についてです。アンケートは集計した後、市ホームページで公開します。

問い合わせ 市政情報課広報広聴係 (☎8214、http://www.city.soja.okayama.jp/)

## 総社市環境観光大使 野口健さん来総 熊本県益城町テント村プロジェクト活動報告会

■日時 9月19日(祝) 午前10時から正午まで

■場所 市民会館

ネパール地震に遭遇した経験から、熊本地震で車中泊を余儀なくされた人を救うために開設したテント村での活動内容を講演します。

■問い合わせ 危機管理室 (☎8599)

